

生まれかわった明和小学校

昨年、旧明和中学校を明和小学校の新校舎に改築する工事が進められてきました。工事も順調に進行し、本年3月に新明和小学校が誕生、4月には新1年生7名も入学し生まれかわった明和小学校の記念すべき1ページが開きました。



(新) 明和小学校校舎(平成21年完成)

新しい明和小学校が、4月1日に開校しました。改築工事は昨年6月2日に着工、本年3月13日に完成、児童が快適に学べる配慮が随所に施され、特に内装は自然の木材を使用した温かみのある優しいつくりの校舎です。1階は校長室、職員室をはじめ、パソコン室や図工室、理科室、家庭科室など特別教室が配置され、2階が普通教室と特別支援教室、多目的ルーム、音楽室などが配置されています。教室の窓は回転式で風のとおりも良く明るさも充分確保されています。

この新校舎で生活する児童は70名、明るく元気な明和っ子が伸び伸びと成長できるよう教育計画でも明和小学校独自の「がむしゃらタイム」を取り入れ、一人ひとりの能力に応じた児童の特徴を活かせる指導が教育方針の学校です。

新たにスタートした明和小学校が更に飛躍することを期待します。地域の宝、町の宝「明和っ子」をみんなで守り育てていきます。

ピカピカの明和小

明和小学校
校長 馬場永好

私は昭和58・59年(講師)平成4・5年(体育館新築)教員として明和中学校に2回お世話になった。今回は木の香りがするピカピカの真新しい校舎である。お世話になるたびに、新築は嬉しいのですが、子どもの数は激減している。

私の住んでいる只見地区も同様で昨年は6名で夏のラジオ体操をしたが、今年は減である。そこで思うことは、この子ども達の将来を想像すると6人の内の半分が残ったとしても3人しかこの地区には残らない計算になる。60戸あまりで3人：「考えられぬ事態である。そういう面からも、この子ども達というのは、本当に貴重な人材(存在)といえる。」

本校でも児童数70名。私が昨年度までお世話になった町は2校合わせて70名と本当に「子どもは大切な宝物」と言わざるを得ない。話は変わるが、フィンランドの教育は学校格差がないことで知られている。先生方も「多様な子どもたちが同じ教室で一緒に学んでいるからだ」と答えるという。同質なものが集まっても、力は伸びていかない。子どもたちが将来生きていく社会と

同様に、多様なものが集まって、助け合い、刺激しあってこそ、実力がついていくのである。子ども達が教えあう姿は日常的光景であり、クラスの人数は最大で24人程度。少しでも授業についていけない子どもがいれば、補助教員を付けたら、補習授業を受けることも多いという。

そして、「ひとりの落ちこぼれも出さない、平等な教育こそ、この国を支えるためには重要なこと」という記事が載っていた。

本校では、「地域と共に歩む明和小学校の実現」を目指しているが、全く同感である。フィンランドのマネではないが、全校児童70名。1人でも授業について行けない児童が出てくれば、個別指導を行い出来る限りの学習支援も可能である。そして、わずかな児童しかいない地域に対する人材確保にも繋げたいものである。

また、町内の各種イベントに参加させることで、いろいろな感動体験を通して人間性・社会性を育むとともに地域をより理解させることも必要であると考える。私は、地元の良さをより理解し、1人でも多くの子供達が親元で生活して頂けることを願い、これからも集会などでイベントへの参加を呼びかけたり学校生活での配慮に努めていきたい。ピカピカの学校に勤務できたいことに感謝しながら！

ありがとう!



⑩ 明和小学校校舎（昭和39年完成）

『45年間、お世話になりました』

旧明和小学校は、寄宿舎を含め昭和38年から39年に建築されました。敷地が低い土地でもあり排水の便が悪く、建設工事は大変厳しいものだったそうです。

旧明和小学校の建設は、昭和37年2月に用地確保、同年8月に着工し、39年3月に完成を見ました。沿革誌によると、39年3月2日「新校舎移転と移転式」とあります。途中、昭和47年11月には「創立100周年記念式典」が挙行されました。地域に支えられ、児童を温かく見守り育ててくれた旧明和小学校校舎の45年間に心から感謝したいと思います。



▲ ランチルームでの楽しい給食（新校舎）



▲ 昼休みの教室で（新校舎）

明和っ子から 新校舎にひとこと



1年 やなとり ゆいか

いちねんせいになって、がっこうたんけんをしたよ。きのかいだんがきれいだよ。くるまのひとがつかえる、えれべえたあやといれもあつたよ。ぴかぴかのがっこうで、べんきょうをいっぱいがんばりたいな。



3年 宇野 尊道

新しい校舎はエレベーターがいて、いるところがすごいと思います。新校舎は、新しい木のおいがあります。とてもいいにおいです。これからも、もっと大切に学校をつかいたいと思います。



5年 菊地 萌花

新校舎になってうれしい事は、木の香りとぬくもりがたくさんあることです。初めて新校舎に入った時のおどろぎと感動を今でも覚えています。この新校舎で毎日勉強できる事がとてもうれしいです。



2年 菊地みずき

4月から、めいわ小学校がしん校しゃになりました。しん校しゃは木でできているので木のかおりがします。それに、ぜん校生であつまっています。うれしくをたべるランチルームは、みんなでたべるのでたのしいです。



4年 山内 光

ぼくは、新校舎に入って毎日楽しく勉強ができて、うれしいです。一番楽しいことはみんなで、いっしょに給食が食べれることです。新しい学校なので、きずついたりよこしたりしないで、みんなと仲良くいっばい勉強やスポーツをがんばりたいです。



6年 栗城 琴音

新しい校舎は、地域の人にもやさしく子供にもいい学校です。今年から、ランチルームになり給食も楽しくなりました。校舎と同じように気持ちを持って、勉強や運動を一年間がんばりたいです。